



履歴書

先日、社長と話しをしている時に、面接の話になりました。社長は高校時代から中部ビジネスに入社してくる方の履歴書を見て、「たぶんこの人は集中力が続かないね」とか、「この人は細かい所まで気がつく人だね」とか判断していたそうです。それが結構当たっているらしいんです。しかも面接まですれば、その的中率はかなり高くなるようです。では一体、社長は何を見て、判断しているのか気になりますよね。こっそり教えてもらっちゃいましたので、皆さんにもご報告します！（あくまで、社長個人の见解です。合っているかは責任が持てません。）社長曰く「まず履歴書の書き始め（左上）と書き終わり（右下）の字を見比べて、字が汚くなっていたり、歪んでいる様な人は集中力が無いね。履歴書を書くには大体30分ぐらいかかる。その30分しっかり集中できる人は最後

まで同じ字が書ける。後半になると、ま、いっか…と思う人が多いかな。雑になってしまう人が多いかな。そういう人は仕事も雑になるね」ですって。なるほど～。言われてみれば、そんな気がするかも…。あと「自分の名前をピシッとかけない人は自分に自信がない人が多いかな…。履歴書の名前は、結構大切だよ。その字が雑だったり、小さかったり、筆圧が弱かったりする人は、自信がない人が多いね」と言っていました。フムフム…。意外と細かい所まで見ているんですね…。あとは「人間味がある部分を特技なり、趣味に書いておくと、ポイントが高いと思うよ！」って言うので、例を聞いてみると「学生の頃、自転車で日本縦断したことがあります！（宮崎君の話）とか、とにかく韓国が好きで、いつの間にか韓国語も勉強しちゃいました！とかね。一見すると仕事に関



会社の近くにウグイスがいます。なんて風流なんだ…

係ない話しのようだけど、実は重要なんだよ。自転車の話は道中で人の優しさに触れ、感謝できる心を持っているかな…とか韓国の話でもこの子は、のめり込むと一生懸命やる子だな…とか想像できるからね。大切な事は、こんなこと書いても仕事に関係ないじゃん…って事でも書いてみる事だね。必要か必要じゃないかは、相手に決めてもらえばいいしね。」ですって…。履歴書1枚取ってもこんなに奥が深いんだ～。見ている人は見ていると言うことですね…。皆さんも履歴書を書くときは注意してみてくださいね！

みんなのひとり言

先日社長が研修で断捨離の話を聞いてきたそうです。断捨離とは字のごとく「断つ」「捨てる」「物の執着から離れる」の頭文字からきたものです。簡単に言うと、身の回りを片付けて、身軽で快適な人生にしましょうと言うものです。それを聞いてきた時は意気込んでいたのですが、気がつけば、今までと全く変わっていません…。研修の効果も3日と続きませんでした。その事を伝えると「俺は片付けるという事を断つ！片付けるという概念を捨てる。片付けから離れる」ですって…。ダ～メだこりゃ…。社長の病気は一生治りませんね…。



喜んでいただけました！のコーナー！

先日、お客様の所へ納品に行きました。その際、ノートパソコンのキーボードが壊れているのを見つけました。そこで「キーボード壊れちゃったんですか？」と聞くと、「そうなんです。文字を打つところが外れちゃって、打てないんです…」と聞いたので、ちょっと見てみると、中の仕組みは壊れておらず、単純に外れているだけでした。これなら直せるかな…っと思ひ、コチョコチョコとやっているうちに

元通りに直すことが出来ました。それを見てお客様も「すご～い！こんなのも直せちゃうんだね！」と感激していました。その目はまるで神様や魔法使いを見るような目でした。なんだか少し照れくさい感じがしてしまうほど、感謝の目をしていらっやいました。そんなにすごい事をしたわけではなかったのですが、確かにお客様にしてみれば使えなくなってしまった物が元通りになったのですから、

ビックリしてしまうのも無理はないのかな…。なんて感じました。とりあえず、皆さんもパソコンで困ったことがあれば何でも相談してみてください。中部ビジネスには詳しい人がたくさんいますから！なんとかなっちゃうかもしれませんよ～。

今月の格言！

負けは変化のきっかけになる
(羽生善治)

レスリングの吉田選手も沙保里選手も119連勝した後に、負けただ1敗が人生の中でとても大切だったと言っていました。その負けを、いかせるのか無駄にしてしまうかは、自分の心しだいなんです。